

私が考えるGenespelistとは

原 将之先生 近江八幡市立総合医療センター 腎臓内科

1) こんなところで働いています (^▽^)

腎臓内科12年目の原です。滋賀に有る市中病院ではたらいています。いわゆる野戦病院ですが、研修医は年間15~20人程度程ローテーションしており市中の教育機関としての役割も果たしています。ここで腎臓内科として働きながら、透析患者さんのマネージメントを行っています。また一般内科として、はざま疾患の治療も行っています。

2) 私のサブスペはこれだ！

腎臓内科 透析科



3) 自分がGenespelistであると感じるときは？

やはり、外来診療や腎臓内科に入院した患者さんを診察する際、自科、他科という意識無く患者さん全体をみて治療をできるようになった時です。他科疾患として紹介するまでの領域が広がっているように思います。またスペシャリストとして他科からコンサルトを受けた時でもできるだけ他科疾患の知識を学ぶようにしており、その科の先生とディスカッションしながら診療にあたっている時にも感じます。

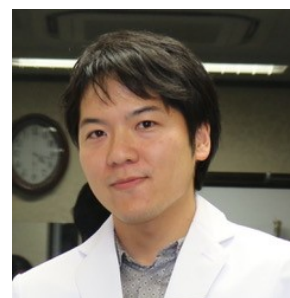
4) Genespelistを勧める理由は？

多疾患を併存している患者さんにとって、いろいろな科を受診しなければいけないことは患者さんにとってデメリットになると思います。ある程度の治療を自分の中で完結できることは患者さんにとっても好ましいことでは無いでしょうか。

また自分の守備範囲を広げることで、一つの疾患を診ていく際に新しい視点から眺める事ができ病態の解明につながる事が増えると思います。

5) 日本の医療を支えるのにGenespelistは必要？

今後高齢化社会になってきた時にマルチプロブレムを持った患者さんが多くなる事は容易に予測できます。そのような時代にある程度他疾患の事を診られる医師がますます必要になると思います。また、疾患だけではなく人を診るという視点からもGenespelistのmindをもつことは有用だと思います。



6) あなたにとってGenespelistって？

片足を自分の専門領域にしっかりと置きながら、もう片足を他の領域まで届く範囲で伸ばしていくイメージです。できるだけ足が伸びるように日々努力しています。(抽象的ではありません。。)

7) 最後にGenespelist推進メンバーとして一言

Genespelistという概念を根付かせ、発展していくためには患者さんを統合的な視点で診られるGeneralist、そしてその領域の高い専門性を持ったSpecialist、どちらの立場の方からも協力や御指導が必要だと思います。

私は「Generalist無くしてGenespelist無し、Specialist無くしてGenespelist無し」と思いながら、自分の理想とするGenespelistを目指しています。



Genespelistのmindを広めていくために皆さんの力を貸していただければ幸いです。

ACP日本支部年次集会2019にて